

研究機関名：日本歯科大学新潟生命歯学部

承認番号 ECNG-R-409

課題名 SARS-COV2 感染鍵受容体 ACE2 の口腔を中心とした組織内局在に関する形態学的緊急研究

研究実施期間 西暦 2020年8月27日 ~ 2021年3月31日

研究の対象 西暦2010年以前に本学附属歯科病院で治療のため病理診断を受けられていた患者様

利用する試料 ■手術・検査等で採取した病理診断用組織ブロック  
・情報の種類 対象臓器名：口腔組織、心臓、肺、腎臓、小腸  
(※匿名化し、個人の特特定ができない状態にいたします。)  
■個人を識別・特定する情報を除く診療情報  
(詳細：年齢、性別、診断名)

外部への試料 ■自施設のみで分析  
・情報の提供 ※分析結果は個人情報保護を遵守し、国際学術論文にて公表いたします。

研究組織 ■研究責任者  
日本歯科大学新潟生命歯学部 解剖学第一講座 吉村 建

#### 研究の意義・目的

現在全世界的に SARS-Cov2 ウイルスによるいわゆるコロナ感染が拡大しております。歯科臨床や学生への教育に際し、感染予防に関する情報が世の中に錯綜し、歯科を始め、医療従事者がその対応に苦慮する現状となっております。SARS-Cov2 (いわゆるコロナ) ウイルスが人体組織に感染する足掛かりとして ACE2 受容体 (レセプター：鍵のようなもの) が重要な働きを行う知見が現在知られております。(先日放映の NHK 番組「人体」でも紹介されておりました。)しかし、この ACE2 受容体は報道でも「舌」・「口腔」に多いと言われながらも、

一体どの部位に多いか、明確には示されておられません。口腔組織の中でどこに多いのか（局在）を示すことで（感染防御など）医療従事者のこの病気に立ち向かうための重要な基礎知識の一つとなりえます。

#### 研究の方法

今回、口腔の組織を中心として、SARS-Cov2（いわゆるコロナ）ウイルスが人体の組織に感染する足掛かりという知見が現在得られております、ACE2 受容体（レセプター：鍵のようなもの）の分布局在に関し、本学病理学講座に保管されている10年以上前の過去に取得された生検組織試料に関し個人の特特定ができない状態に（ランダム匿名化）した後、口腔粘膜を中心とした各種組織のACE2 受容体を特定するための特殊染色（免疫組織化学）を行います。ACE2 受容体の組織内局在は顕微鏡を用い、解剖学・病理学・口腔外科学の視点により観察と解析をいたします。

研究結果は（現在の社会的要求もありますので）国際学術論文により緊急に公表いたします。

#### その他

本研究に関する研究資金の提供はありません。

#### お問合せ先

本研究に関するご質問などありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報と研究に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本歯科大学新潟生命歯学部

解剖学第一講座

担当者：吉村 建

電話：025-267-1500